

1082

泉南走ろう会

連絡先 泉南スポーツ社
0724(83)4653

ついで島オリがマラソンに

参加して

会長 達健三

もう、こんな苦しいことやめた、これを走ればもう走ることはないのだ。来月三月までは楽だ、篠山マラソンを走るとき、そう思った。これからはもう楽に、ジギンカすればよいのだ、その時はそう思ったので、思ったのであるが、それから、なんのなな三月二十七日北九州ハイウェイハイマラソンに参加して四月十日北九州登山マラソンに参加して今回の五月二十九日小豆島ハイマラソンである。一体どうなっているのだろうか。余程ひどいなあ、とにかく十四時三十分発大阪弁天埠頭より乗船する。船中には私の知り合いの山の仲間がいた、その連中は山以外に自転車や走っているのがある、それを、グイの鉄人レースに参加した人三人、篠山またエ山のフルマラソンに参加した人連である。そして話せば冬山、春山の話レアイゼンはどうの、ザウルはどのの、話レに夢中である。当然のことながら、ビール、酒のみながらである。私も春山に行きたのだと話しながら、かまや酒をのむ。船は定刻六時五分小豆島坂守港に着く。そこにはもう明日の大会に備え

て、テント等が用意され、受入れ体制が整えられていた。多勢のランナーの到着、大気分が盛上っていた。明日はいよいよハイフ、走るのだ。別に緊張もしない。さて、今晚のお宿はどこにしまかと思っていると、山の連中は、フジ等テントを張る。二階に寝ながら、テントであれば無料ですと。それは結構なところがあるが、この連中と一緒に一晩中のむのと違うかと思つたが「ほな、そうしよう、か」とテントで寝ることにする。案の状宴会が始まる。もう駄目だ。明日は走れるのかと思つたが、軽く走れば良い、所詮遊び遊びと割り切つて、彼等と、酒、ビールをのむ。外は月夜だとして海岸はきれいな景色である。フジはもう寝るお先にと午前一時、私は彼等より早くテントに入る。朝六時海岸を散歩する。午前七時にウォーミングアップを兼ねて、ハイキンを走る。鉄人の連中は自転車で行く。午前九時三十分スタートする。天候は上天気だ。いな、真夏のように暑い。私は二十キロ位では給水をしな、ようにして、今日はやべい。早く給水をと、多量の地点で水を飲む。それから、冷水地点があるごとに、水、スポンジをとる。とにかく暑い。折り返し地点にかかると、早くも人が倒れている。また、人が倒れている、皆んな無関心だ。こう暑いと人が倒れるのもあたり前だと思つているのであろう。隣を走っている人から話しかけてきた。こう暑いと倒れそう、それにしても景色が美しいぞ、なあ、あんな何処から来た。私は北九州から来た。私は大阪から来た。北九州なら、こないだ、ハイ、早

マラソンに参加したと話す。救急車が多数である。大まにいたらなければ良いが、あゝ、ひたむきに走る。ゴールは元氣よく、一バに両手を上げ、ゴールする。二時間五十分四十七秒であった。ケタクソ悪い。北九州の時より五分遅れている。酒のみ過ぎか、それにしても、私の部で十九位であった。何人かの十九位か、それがお楽しみ、トール一〇七七人中七六五位であった。もうケレ頑張りばもう上位に行けたと思へ、残念である。ランナーの皆様、これから真夏ビールがかわいですが、くれぐれも健康に注意を頑張り、下さ。走ら仲間とたまには、ゆくりと宿泊して走るのもまた楽しい。それが、小豆島マラソン大会に参加して、記しました。

おしらせ。

一、例会日
六月十九日午前九時
新永公民館

一、コース
二百と相談して決める

歩くのむいか、であらう、50km エ〜〜ホシマか、

一、神鍋高原マラソンについて



